

テーマ ふるさと発見！にいみの伝承文化(紙すき)を体験しよう



【事業の背景】

子どもたちは、地域の自然や産業、歴史や文化について意外と知らない。地域の良さや素晴らしさ、課題等を知ることにより、将来、今住んでいる地域で活躍したい、暮らしていきたい、また課題を解決していきたいという気持ちが芽生えてくるのではないかと考えた。

そこで、子どもたちに自分の住んでいる地域を学ぶ機会を提供したい。また、その機会を、地域の活性化や様々な課題を解決するために日頃から取り組んでいる婦人会と子どもたちが一緒に活動することで、さらに地域への愛着が芽生えてくるものと考えた。

【実施内容】

日時: 令和2年10月24日(土) 9:00~12:30
 場所: 夢すき公園(新見市神郷下神代1977-1)
 参加者: 新見市哲多地区小学生(3~6年生)14名
 新見市婦人連合協議会役員 9名
 内容: 紙すき体験をする。
 和紙のつくり方や神代和紙の歴史を学ぶ。

【連携団体】

神代和紙保存会



【活動の様子】

神代和紙保存会の仲田さんを講師に招き、まず神代和紙の歴史についてお話をいただいた。楮などの紙の原料やきれいな水が豊富にあった新見は、昔から紙作りが盛んで、特産物として納めていたことや、和紙のつくり方について詳しく説明して下さった。

その後、子どもたちと婦人会と一緒に和紙のはがきとしおり作りに挑戦した。紙すきの際には、紅葉などのかざりを入れ、着色、脱水、乾燥の一連の流れを体験することができた。

【成果と効果】

アンケートの感想から、新見の和紙の歴史や和紙づくりという伝承文化を守り続けている人がいることを知り、新見のすばらしさを学ぶことができた。また、和紙作りの体験を通して、作業の大変さや作品作りの楽しさを感じるとともに、この文化を守り続けて行きたいといった意見も見られた。

今回、子どもたちに自分の住んでいる地域を学ぶ機会を提供した。紙すきという新見に伝わる伝承文化の一部であったが、子どもたちが地域へ目を向けるよい機会になったと思う。

【アンケートの結果】

質問事項の①、⑥では、参加者全員が「とてもそう思う」と回答し、企画した内容に大変満足している。

⑦の質問事項では、将来のことを尋ねたが、新見市に住みたくないという参加者もあり、本事業に限らず本市のすばらしさを継続して伝えていく必要がある。

【改善点等】

今回、参加募集を新見市哲多地区3小学校の3~6年生に限定して行った。市内全体、地区の変更等を行い、様々な子どもが参加できるように工夫していく。また、新見市の良さを発見できるプログラムを開発し、提供していく必要がある。

「紙すき体験」アンケート



- ①参加して楽しかったですか。
- ②自分から進んで活動できましたか。
- ③協力して活動できましたか。
- ④婦人会の人と交流できましたか。
- ⑤新見について知ることができましたか。
- ⑥また参加したいですか。
- ⑦将来も新見市に住みたいですか